



あなたの未来を守るライフスタイル情報誌

乳酸菌 PRESS

NO.3
2017 4
APRIL

INDEX

NEWS 01 富士通 FRONTIERS が
乳酸菌 LS1 のオフィシャルパートナーに！……………P.1
NEWS 02 予防歯科のトップランナー『日吉歯科』酒田診療所……………P.2
NEWS 03 乳酸菌 LS1 アンバサダー インタビュー ……………P.4

NEWS 04 (宮城県)秀光中等教育学校 訪問……………P.6
NEWS 05 「予防歯科」イベントに参加……………P.7
NEWS 06 お客様の声……………P.8
NEWS 07 ペルマークのお知らせ ……………P.8

NEWS 08 コイケヤ LS1 ショップ
LINE@ のご紹介……………P.8



アメリカンフットボール日本一 富士通FRONTIERSが 乳酸菌LS1のオフィシャルパートナーに！

「勝利への口腔ケア」に取り組む乳酸菌LS1の「モデルチーム」に、2017年ライスボウル優勝チームが新たな仲間に加わりました。



NANO Association

今年1月3日に行われた日本選手権(RICE BOWL)で2度目の栄冠を手にしたフロンティアーズが、連覇を目指し始動しました。

アスリートこそ歯が命

2016年秋に野球チームのサポートからスタートした、予防歯科をスポーツ選手に啓蒙し、勝利につながる口腔内サポートをしていく「乳酸菌LS1モデルチーム」。今回は口腔内環境がよりパフォーマンスに影響を及ぼすことが懸念される、アメリカンフットボールのトップチームです。

川崎市にある富士通フロンティアーズ専用グラウンドは、張り替えたばかりの人工芝が、まだ肌寒い3月の陽気にもかかわらず、私たちに輝いて見えました。

この日はシーズンインとなる初日のチームミーティング。選手表情は朗らかで、2ヶ月間のオフ後の再会を楽しんでいるようです。そんな中、私たちは乳酸菌LS1の効果、効能について選手たちに説明する機会をいただきました。

この度、日本一のアメリカンフットボールチームが、私たちの乳酸菌LS1に着目していただけたことは、大変光栄なことであり、また、予防歯科の啓蒙を共に推進しているパートナーである富士通様と、チームのGMを務めていらっしゃる常盤真也様に深いご理解をいただきましたことに、改めて感謝いたします。

アメリカンフットボールは、ヘルメットと防具を着用し、攻守激しくコンタクトしながら陣地を奪い合う過酷なスポーツです。また戦略、戦術を駆使した頭脳的なプレイや、時に敵陣を切り裂くロングパスやランが飛び出す華麗な一面もあり、そのゲーム性とエンターテインメント性の高さから、アメリカでは人気NO.1スポーツになっています。

アメフトを含め、スポーツに欠かせない瞬発力や平衡感覚は、小脳が刺激をキャッチして大脳を介して体に指令を出します。その刺激のひとつが「食いしばり」です。「歯の食いしばり」は全身の筋力を瞬間的に増強させる方法のひとつ、と言われています。

食いしばりにかかる歯への圧力は『平均約60kg』ともいわれています(最大で100kg)。健康な歯や歯茎でなければ、しっかりと食いしばることができません。

また、アメフトは安全面と平行し「歯のかみ合わせ」や「食いしばり」の改善に「マウスピース」を使用するケースも多いのですが、その基礎・土台となる「自分の歯や歯ぐき」のケアが先決である、と湖池屋は考えております。

アメフトの様な過酷なコンタクトを行うアスリートは、歯の噛みしめから生み出されるパワーをどのように考えているのだろうか？

給水時のスポーツ飲料等による糖分摂取、身体づくりを目的とした栄養補給の回数の多さに比べ例した口腔内ケアはできているのだろうか？

それが湖池屋の興味であり、選手やスタッフの皆様と危惧しているチームでもあります。

フロンティアーズの今シーズンの活躍を応援しつつ、今後は選手のインタビューも行ってまいります。



新シーズンに向けた集合初日に、富士通様とともに選手の皆様へエルエスワンの商品説明を実施

乳酸菌LS1アンバサダー 塚原謙太郎トレーナーインタビュー

全国屈指の高校野球強豪校の指導者として活躍している塚原氏。
今回は、夏の甲子園を目指す花咲徳栄高校(埼玉)、流通経済大学柏高校(千葉)での指導中に伺い、
お話を聞いてきました。



流経大柏の選手に独自の走塁練習の指導を行う塚原トレーナー

“ ~勝利のために~
「始めよう、歯みがきプラス乳酸菌」
新たなスローガンを掲げ、聖地・甲子園へ挑戦 ”

「一塁を蹴る時はもっと体を傾けて走ろう」コーナーを回る際に、体を立てたまま曲がろうとするとどうしてもスピードが落ちてしまうので、一塁を蹴って二塁を回るときは極力体を内側に傾けながら走っていくことが大切と何度も指摘していましたが、「流通経済大学柏の選手たちはまだまだ体幹が弱く、野球の動きができていない。正しい動作を練習してもすぐ忘れてしまう。自分たちでできるようにするまで、まだまだ時間がかかりますね」

取材当日、流通経済大学柏高校の選手たちは走塁練習を繰り返していましたが、2班に分かれ、ホームベースからスタートし、あえて外にふくらまない様に一塁を回って、二塁まで走るという特定の「目的」を持った、塚原氏独特のメニューです。「一見、黙々とメニューをこなす選手たちに、塚原トレーナーの熱気を帯びた声が響きます。」

選手に考えさせながら
習得させる難しさ



普段から一つ一つの練習の意味を考えさせる塚原トレーナーはただ勝たせようとしているのではなく、生徒たちが自ら伸びる環境を作り出し、成長を促す指導がそこにはありました。

「はじめよう！
歯みがきプラス乳酸菌」
私たち湖池屋が乳酸菌LS1で掲げているスローガンです。皆様のお口に良い菌を増やすだけでなく、お

2校での取材を
踏まえて

野球のトレーナーである塚原氏が、なぜ口腔内ケアに大きな興味を持ち、指導するチームで推奨しているのか。単に選手たちの口腔環境を改善したい、という目的ではなく、競技者としての「体のケア」や高校生として将来を見据えた「身だしなみ」に対する「自主性」を育むことを重視されています。



花咲徳栄高校は、2015年度(ベスト8)、2016年度(1回戦)、2017年度(ベスト16)と3期連続で埼玉県代表として甲子園に出場。2017年度は昨秋の関東大会で神奈川県・慶応義塾に敗戦し惜しくも4期連続の甲子園を逃しましたが、3年連続夏の選手権大会出場を目指しています。2015年度は東海大相模(神奈川県)、昨夏は作新学院(栃木)と、いずれも全国制覇したチームに2年連続で惜敗した悔しさを晴らすべく、冬季に厳しい練習を重ねてきました。グラウンドでアグレッシブに動く選手たちを見て、3年連続夏の甲子園出場に向けて、視界は良好です。



Profile
塚原謙太郎さん
1974年生まれ、東京都出身。都立淵江高校～東北福祉大～日本生命と硬式野球を続け、社会人でも5年間プレーしたのち、トレーニングの専門学校へ入学し、トレーナーの道へ。現在は高校野球部数校のトレーニングサポートや各種セミナーの講師を務めるなど幅広い活動を行っている。

「中学生は、トレーニングの専門知識がまだまだ足りない。教えることと実践させることが大事ですが、高校生は違う。」と塚原トレーナーは断言されます。

高校生は自主性を育むことが大切



中学の延長である高校1年生までは「教える」ことに重点を置きますが、2年生以降は「自分で考える」ことを促しているそうです。花咲徳栄高校のような強豪校ではなおさらで、「全員が自分で考えてプレイできるようにしなければ、いい連携も生まれません。逆境を跳ね返すこともできず、諦めてしまう。」



「砂」を撒いたグラウンドで「足袋」を履き、独自のトレーニングをする花咲徳栄の選手たち

「高校3年生になれば、教える態度は」
「高校生は身体的にも精神的にも1年で見違えるほど変わることがあり、指導者が、テイチング(教える、管理する)からコーチング(気付けさせる、見守る)にシフトすることが大事であり、そのタイミングは難しい」それが高校生の「おもしろい」ところだと笑う塚原トレーナー。この人の話をもっと聞きたいと選手に思われていることが、指導の神髄だと私たちは感じました。

花咲徳栄高校、
3年連続夏の甲子園へ

vol.2

『プロフェッショナル-仕事の流儀-』『カンブリア宮殿』に登場!

予防歯科の世界的権威 熊谷崇理事長率いる「日吉歯科」で LS1の試食販売を始めました。



スナック菓子メーカー湖池屋と 日吉歯科様との出会い

日吉歯科様との出会いのきっかけは、約1年前にさかのぼります。

テレビ東京「カンブリア宮殿」の放映を筆者(コイケヤ)LS1ショップ店長・青島健二)が見たことから始まりました。

番組内で「歯は治療するのではなく、予防するものだ」と語られていた熊谷崇理事長にお会いすべく、即座にお電話をさせていただきました。

緊張のあまり、しどろもどろになりながらも熊谷理事長からの第一声は、「今週末に歯科医向けの勉強会があるので、是非参加してみてください」という温かいお言葉でした。

乳酸菌LS1と予防歯科の 向きあい方を考える

日吉歯科様より帰社後、2002年に発売後、初めて乳酸菌LS1を全面リニューアルし、新商品を発売するという計画を立てていた時期でしたので、改めてどのような順序で、どのような活動をしなければならないのか、再考する日々が始まりました。

そもそも乳酸菌LS1は、薬事法の規制により、その効果を明確に謳うことができません。

「予防歯科」について正しい知識を学び、真剣に向き合う機会を得たことで、ホームケアの一助となるためのブランドリニューアルへの示唆となり、議論は社内で大いに熱を帯びていきました。

結果、洗面所等に置かれても清潔感を感じていただけるデザインへの変更、お子様もなめやすいフルーツの味、といった新商品開発に至り、2016年4月にブランドの刷新と新商品の発売に辿り着いたので(写真左)

予防メインテナンスを患者として体験

予防歯科への理解や知識をより深め、まずは自分達が健康になることを目指し、前号(乳酸菌PRESS 3月号)で掲載しました日吉歯科汐留診療所(2016年3月開設)・熊谷直大所長のご協力を仰ぎながら、私とLS1ショップの社員である佐久間店長代理2名が、実際にメインテナンスを始めました。正直に言えば、「歯が痛くもないのに歯医者さんへ通う」ことに慣れていない2名です。

「歯医者さんに行く」というと、皆さん「痛い」「怖い」「面倒くさい」というイメージが浮かぶ方々もいらっしゃると思いますが、痛みや辛さとは真逆で、とても気持ちが良い、リフレッシュでき、口の中を汚すのがもったいなくなる感覚になりました。

日吉歯科様が推奨されておりますMTM(メディカル・トリートメント・モデル)は、口腔内の状態や唾液の分析を、詳細で科学的なアプローチで診察することから始めるという、いままでの概念にない診療でした。

メインテナンスの有効性や必要性について、患者さんに対し「見える化」を実現され、患者さんが健康の維持・増進により傾く様なコミュニケーションを笑顔で創り出されておりました。

あたりまえの事かもしれませんが、「健康であらいたい」と思う患者さんは、医療現場での詳細な治療方法や、患者さん自身の口腔内の具体的な数値の變動や数値のレベルの比較、またどのようなホームケアが必要なのかを詳しく知りたい、という気持ちになるのが当たり前であり、それを



日吉歯科が推奨する「MTM(メディカル・トリートメント・モデル)」の一連の流れ

市民の約3割が受診、約1割が定期的に通う歯科診療所

テレビ番組を見てから3日後、私は日吉歯科酒田診療所へと向かい、羽田空港から1時間強で初めて山形・庄内空港に降り立ちました。

前号(乳酸菌PRESS 3月号)でも触れましたが、日吉歯科は酒田市の人口(約10.5万人)の3割が受診し、1割以上が定期的なメインテナンスに通うという、データ的には驚愕の歯科診療所です。空港で待機しているタクシーの運転手さんたちに、試しに軽くインタビューしてみました。「日吉歯科さんという歯医者さんをご存知ですか?」驚くことに知らない運転手さんはいませんでした。さらに、「飛行機を使って全国からお客さんが来ているよ。」と



閑静な街並の中に和洋折衷の特徵的な外観で立つ日吉歯科酒田診療所

さらに驚愕のコメントを聞きました。初訪問で酒田診療所での「歯科医向けセミナー」に参加をさせていただきました。登壇された熊谷理事長は、2014年4月から「メンテナンス」を「自由診療」として始められた経緯から始まり、予防を推進することで生まれる新しい経済的満足の可能性、口腔の健康の価値を高める必要性など、日頃はなかなか着眼できない革新的なテーマを、医師ではない私でもわかりやすく、次々と話されました。

「世界レベル」の歯科診療所に終日滞在し、私が今まで持っていた歯科の概念を大きく覆す内容が多々あり、目を見開かされたような感覚を、今でも鮮明に覚えております。

熊谷理事長が率いる酒田診療所の皆様は、真剣に「市民の健康を世界一にする」という目標を掲げ、強い信念の元に遂行されていることが、患者さんとの信頼関係を揺るぎないものにしていくのだと感じました。

「予防」という概念を真剣に考える上で、まずは私たちが「いつまでも健康であらいたい」と思うことから始まりであり、健康であることがあたりまえではなく「価値」と捉えられるかが、日々の生活においては個人の責任であると思えます。



診療所の受付に「乳酸菌PRESS」とともに並べられた乳酸菌LS1



乳酸菌LS1の説明会には酒田診療所のスタッフ総勢約40名が参加



酒田診療所の医師、歯科衛生士の皆さんにLS1の紹介をする熊谷理事長

乳酸菌LS1・酒田からのチャレンジ

2017年3月初旬、私たちは日吉歯科酒田診療所の研修室に伺いました。

日頃は、院内の方々や、他県より研修に来られる歯科医や歯科衛生士さんが、様々な勉強会をされる場所です。酒田診療所の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、総勢約40名の方々に乳酸菌LS1の商品説明や、「乳酸菌PRESS」でも毎月掲載をしている競技スポーツ選手、チームへの予防歯科に関する活動のご紹介です。

初めての出会いから約1年2ヵ月、私たちに様々な知識と経験の機会を与えてくださった予防歯科の正真正銘のエキスパートの方々より、今後もしも意見やアドバイスをいただくこ

とを目的に実施させていただいた、貴重な会です。

参加された方々から時折笑いも出るあたりは、「スナック菓子メーカーの湖池屋」が、テレビでも取り上げられた秀逸な歯科診療所で説明会を実施しているという「異色の組み合わせ」の影響でしょうか、新たな発見や発明が生まれる予感も感じます。

そして、同診療所での乳酸菌LS1の試食販売が開始されました。単なる販売ではなく、同時にLS1を試していただく診療所スタッフの皆様と合わせ、口腔内及び全身の健康維持・増進のモチベーションが非常に高い方々からの評価をヒアリングすることを大切に考える新たなチャレンジです。

このチャレンジの先には、乳酸菌LS1を真剣にお使いいただいている「健康であらいたい」というお客様に対して、お役に立てる新たな商品作りや、研究、サービスにつなげていくことが私たちLS1ショップの使命です。

Profile

熊谷 崇さん

1942年生まれ、東京都出身。日本大学歯学部卒。1980年山形県酒田市に開業(日吉歯科診療所)。マルメ大学名誉博士号、日本大学客員教授、東北公益文科大学理事。虫歯や歯周病の進行を防ぐ『予防』の分野で『革命的』とすら評される実績を残してきている。痛みを治す歯医者ではなく、痛くならないための歯医者を目指している。関連書籍:歯を守れ!予防歯科に命を懸けた男(日吉歯科診療所・熊谷 崇の挑戦)

「歯みがきプラス乳酸菌」というコンセプトによって刷新されたLS1のパッケージデザイン



「予防が未来を変える」 ～クオリティを高める「予防歯科」の可能性～ 東京歯科大学での講演、 企業セッションに湖池屋が参加しました

2017年3月19日、私たちは「最先端の、最も進んだ知識と技術を臨床に生かす組織」として活動されるSAT(State-of-the-Art Team)様が主催された「予防歯科」をテーマとした歯科医と企業による合同イベントにパネラーとして招待されました。歯科医療関係の方や、これから歯科医、歯科衛生士などを目指される方、そして一般の方々、総勢約320名が集まり、熱気溢れる雰囲気で開催されました。



「プロフェッショナルとは」を力強く語る熊谷 崇 理事長



「乳酸菌 LS1 モデルチーム」での活動を紹介します 湖池屋・青島



<左より>全日空商事・荒牧氏、ロート製薬・服部氏、湖池屋・青島、富士通・武久氏

「新しい価値の創造～歯科医療のイノベーション」

健康社会を支える 医と産業の新しい連携

- 日吉歯科酒田診療所 熊谷 崇理事長 -

本誌2～3ページでも掲載しております日吉歯科酒田診療所・熊谷理事長も登壇されました。

（山形県）酒田市民の健康を世界一へ」というスローガンを掲げて37年間もの間、予防歯科を推進してきた日吉歯科の歩みの歴史のお話を、「年をとっても患者さんの歯を28本残す」ことに並々ならぬ責任と信念を感じました。

このスローガンは卓越した医療技術と、繊細に数値化された患者さんの口腔内データ、そして何よりそれを共有する患者さんの揺るぎない「信頼」なくしては推進できない医療であると言えます。

また、医療現場と企業が新たに連携し、「予防」の大切さと、そこから生まれる「健康の本当の価値」を、企業が持つサービスや技術、商品も駆使しながら正確に伝えていく活動こそが、これからの「日本の健康社会」を支える新たな礎になることを提唱されました。私たち湖池屋もスナック菓子や乳酸菌商品を通じて、その一助になるべく活動していきたいと思えます。

“健康”の価値をどう広げる？ 企業の挑戦

「予防」することが何故必要なのか、大切なか。その先にある「健康であり続ける」との本当の価値」をどう伝えていくべきか。わかっているつもりでも、深く理解して行動に移したり、家族や親しい人たちに正確に伝えていくことは簡単ではありません。

このテーマに対して、4企業が集まりトークセッションが行われました。登壇したメンバーは、全日空商事(株)、執行役員 荒牧氏、ロート製薬(株)再生医療プロジェクト 服部氏、富士通(株)未来医療ビジネス センターマネージャー 武久氏、そして湖池屋からは乳酸菌LS1ショップ店長である青島が参加しました。航空、医薬品、エレクトロニクス、菓子という異色の組み合わせでしたが、セッションの「課題

解決」に熱く挑む姿勢は、足並みがそろって、革新的なアイデアやサービス、エネルギー溢れる新たな活動が始まる気配を感じます。

「日本人は予防の意識が低い」「その原因は？」という世論の提議も少なくないのですが、私たちは、意識が低いのではなく、「（正確に）予防の知識を得る機会が少ない」と感じています。「知っている人（企業）たちが上手く伝えていく」「知っている人（企業）たちが理解を広げて健康（社会）を実現できる活動続ける」

このセッションを通して、私たち湖池屋はこのテーマを再認識し、皆様へのサービスに繋げていきたいと考えております。

社員が健康なスナック菓子メーカーへ！ 新たな福利厚生制度の導入

日吉歯科様との出会い、乳酸菌LS1の全面リニューアルなどのプロセスを経て、「全身の疾病予防は口腔内ケアから」というテーマに対し、社員に対して歯科メンテナンス費用を助成するという新たな制度を2017年2月1日より導入し、社内受付を開始しました。

元々、制度を立ち上げること自体が目標ではなく、社員とその家族が口腔内ケアの大切さを本当の意味で理解し、健康の尊さを知識と行動で示しながら、その社員達から創造される新たな商品により、企業として成長していけることを目標にしています。



ふたたび「日本一からの招待」を目指す秀光中等教育学校 質の高い生活習慣がもたらす、勝利への道！

乳酸菌LS1オフィシャルパートナーである、仙台育英学園秀光中等教育学校軟式野球部。自分の健康に興味を持ち始め、より高い意識で野球に取り組む選手たちの声をご紹介します。



2度目の全国制覇を目指す秀光の選手たち。優勝旗へ視線は良好です。

「選」手たちにも好評です。自分の体に興味を持ち、健康に対する意識が高まっています。野球部のプラスに作用していることが喜ばしいですね。昨年12月から導入している乳酸菌LS1の効果も、須江監督が笑顔で報告してくれました。

チームはこの冬「第8回全日本少年春季軟式野球大会」に向けて、野球、日常生活、勉強。全ての面で最善の準備をしようという話し合いました。タンパク質中心の食事で身体を大きくすることと課題の一つだった選手たち。「食」に対する情報には敏感でしたが、日常生活に乳酸菌LS1を取り入れることで、より健康への意識が高まったと言います。

黒田恒大選手（新2年）は「喉が弱いので毎朝スプレータイプの医薬品でケアをしているのですが、LS1を舐めるようになってから口の中も大切にするようになりました」とコメント。湖池屋に「LS1で」喉の痛みは治りますか？」と積極的に質問する一幕もありました。

黒田選手だけでなく、秀光中の選手は皆、体ケアの意識がとて高く、感心します。高橋雅空（がく）選手（新2年）は「部屋の湿度計が53%以上の時は喉が乾燥するので加湿器をつけています。小原捷平選手（新2年）は一朝起きてすぐ、目の体操をしています。遠近を交互に見たり、爽快感のある目を差して朝からシャキッとさせます」。野球も健康管理も、気付きと継続が大切。

「日本一からの招待」、つまり、日本一はつかみにいくものではなく招かれるもの、というスローガンをかけているチームだけに、日ごろの生活習慣そのものが、勝利への準備になっているのです。



乳酸菌LS1が二度目の全国制覇をサポート

今年のチームの強みは、エース宮本拓実投手（新3年）、最速138km/hを誇る左腕、笹倉世風投手（新2年）、伊藤樹投手（新2年）の左右4人の最強投手陣。昨秋の宮城県大会、東北大会全2試合でわずか2失点と驚異的なカルテットです。

昨秋の県大会、東北大会全59イニング無失点、最速136km/hのストリートと鋭い変化球を操る宮本投手が「できれば1球で打者を打ち取りたい」と言うように、守備の時間をいかに短くして攻撃の時間を長くする「ポゼッション」（ゲーム支配率）に価値を置き練習を行っている。いよいよ野球シーズン開幕。日本一への挑戦も、それを支える身体ケアも、万全の準備で臨む秀光中野球部の選手たちに注目して下さい。



「日本一からの招待」を背に指導する須江監督。わかりやすい表現で選手の「課題」を整理していく



厳しい練習後に全員でLS1を口へ。チーム全員で口腔内ケアに取り組んでいる



秀光中の最強カルテット<左から>伊藤樹（新2年）、宮本拓実（主将・新3年）、杉山歩海（新3年）、笹倉世風（新2年）

2月12日

使用して三日目になりますが、
本当に朝起きた時の違いを実感しております。



3月7日

毎日ヨーグルトを食べるのも飽きてしまい
なかなか続けることが出来ませんでした。
乳酸菌LS1のサプリメントは1日3回
舐めるだけで良いので毎日続けられる自信が持てました♪
歯磨き後でOKというのがとても嬉しいです。
私は歯磨き後にどうしても何か食べたくてしまうので
おやつではなく乳酸菌LS1を舐めて
悪い習慣をやめたいと思います。



2月15日

お世話になっております。
LS1を始めて1ヶ月。
「寝る前に1粒」が
無理なく習慣になりました。

2月14日

LS1は、とても興味深いです。
歯は、大切な体の一部だと
感じていますから摂取したいです。
ありがとうございます。

3月8日

身近に信頼のおける製品があると、安心です。
これからも頼りにさせていただきたいです。



ベルマークのお知らせ

乳酸菌LS1は
ベルマーク教育助成運動参加商品です

「乳酸菌LS1 SUPER」の
90粒商品は

61点

かまずに
なめてください



「乳酸菌LS1 SUPER」の
60粒商品は

42点

かまずに
なめてください



「乳酸菌LS1」の
60粒商品は

35点

かまずに
なめてください



コイケヤLS1ショップLINE@のご紹介



コイケヤLS1ショップのLINEアカウントでは、お口の健康に関わるトピックや
最新の予防歯科情報だけでなくLINE限定のお得なセール情報等も配信いたします。
是非、皆様のお声をお聞かせください！

【ID】 @ls1shop



乳酸菌エル・エス・ワンは、湖池屋の特許技術を使用した商品です。(特許第4203855号:乳酸菌を有効成分とする生菌製剤および乳酸菌含有食品)



株式会社 湖池屋

メール ls1shop@koikeya.co.jp

TEL 0120-749-418

FAX 03-3979-2184

コイケヤLS1ショップ

検索

http://ls1.koikeya.co.jp/

